

平成30年度 放課後等デイサービス事業所(いるかデイ東見前)自己評価・集計について

- 1 目的 保護者と事業所それぞれが自己評価をすることで、日々の支援の在り方や業務について、再確認及び検討を加え、より良いサービスの提供と充実を図る。
- 2 調査期間 平成30年7月10日～7月31日
- 3 対象者
 - ・定期利用のある保護者21名(兄弟姉妹での利用があるため、児童は22名)
 - 21名に依頼し回答があったのは、17名(回収率81.0%)
 - ・職員 4名(回収率100%)
- 4 実施結果
 - 【事業所】
 - 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価・集計表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	評価及び課題
環境・体制・整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			・2つある部屋を活動内容によって使い分けしている。休養が必要な子がいる場合には、子どもたちに説明しその都度対応している。	・今後も限られたスペースを有効に活用できるように工夫しながらの対応が必要です。
	②	職員の配置数は適切であるか	4			・基準人数より1名多く配置されている。 ・利用者が多い時や外出活動時、必要に応じてパートの方をお願いしている。	・利用者の利用申し込み状況や外出時等状況に応じた職員体制を継続していきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		4		・玄関の段差には踏み台を置き、玄関やトイレに手すりが設置されている。	・現段階では、バリアフリー化が早急に必要状況ではありませんが、利用者さんにとって安全で使いやすい環境を整えて対応していきます。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4			・昨年度より、準備を始め、今年度から本格的に取り組んでいる。	・事業の現状と課題の把握と職員の資質向上のために継続して行っています。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見を把握し、業務改善につなげているか	4			・年1回実施、事業や支援内容に反映している。 ・意見要望等の受付や嗜好調査等を行っている。	・保護者の要望等を明確にするためにも、継続して実施し、サービス向上に努めたいきます。
	⑥	自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			・保護者の方に文書でお伝えし、玄関に掲示している。	・現在HPを作成中であり、今後、公開する予定です。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4	・未実施。	今後の検討課題です。
	⑧	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	4			・職員全員が研修に参加できるように、調整して参加している。	・様々な研修に積極的に参加し、職員の資質向上に努めていきます。

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時と年度初めの年1回アセスメント表への記入をお願いしている。 ・個別面談時に詳細を確認し、個別支援計画を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実施し、不都合な点については、検討し改善していきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・独自の様式にて対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実施し、不都合な点については、検討し改善していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議で話し合い、活動ないようや余暇・外出活動の計画を立てて実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実施し、療育支援の充実を図っていきます。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事や週単位で活動内容を計画して実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者がバランスよく経験・体験できるようにさらに内容を吟味し、充実を図っていきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・社会資源を積極的に活用し、子どもたちの経験の幅を広げられるような内容を工夫している。(外食、買い物、施設見学等)・ルールや行動面での課題・目標を設定して計画している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実施していきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズや状態を確認して作成している。環境設定や個別的な対応を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実施していきます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・朝のミーティング時に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実施し、支援やサービス内容の充実を図っていきます。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎の関係で、翌日のミーティング時に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実施し、支援の充実を図っていきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎の関係で当日記入が難しい時には、翌日の午前中に必ず記入するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実施し、支援の充実を図っていきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画作成後、6か月ごとにモニタリングを行い、新たな個別支援計画を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実施していきます。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・放課後の充実と社会性やコミュニケーション能力向上をめざし、集団活動や個別的活動を状況に応じて組み合わせながら行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もサービスの充実に向けて、ガイドラインに沿った支援を継続して行っていきます。
⑳	障害相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・ケア会議や教育相談に、児童発達支援管理責任者が参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議開催時には、子どもの状況に精通した職員の参加を前提としていきます。 	
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・学校や保護者から学校行事等の情報をいただいている。必要に応じて学校に確認をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き適切な対応を行っていきます。 	

関係機関や保護者との連携	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている。		4		・保護者からの申し出により、目薬や服薬等の対応している。	・安心・安全のための情報収集及び協力体制を整えていきます。	
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		4		・今年度は、新しい受け入れがなく、情報の共有はしていない。今後そのような機会があれば、対応していきたい	・引き続き適切に対応していきます。	
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から他の福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			4		・昨年度末に、卒業した方がいたが、共有はされなかった。	・必要に応じて対応していきます。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4				・必要に応じて情報を共有している。	・連携の充実を図っていきます。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4			・あまりないが、年に一度地域交流も含め、いるか祭りを行い交流する機会を作っている。	いるか祭りを継続して行い、地域の子どものための交流の機会としていきます。
	㉕	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		4			・機会がない。	・機会があれば積極的に参加していきます。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	4				・連絡帳や送迎の際、共通理解に努めている	・引き続き、信頼関係を築きながら丁寧に対応と助言を行っていきます。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4				・今年度から始めた。	・保護者が子どもの状況を正しく理解し適切に対応できるようにペアレント・トレーニングを継続して行っています。
保護者への説明責任	㉘	運営規程、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4				・契約時に説明をしている。	・引き続き行っています。
	㉙	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4				・保護者から相談があった場合には、丁寧に対応することを心がけている。利用時の様子や成長を伝えることで、子育ての励みにしてもらっている。	・引き続き、保護者の悩みを受容し、丁寧な対応及び助言を行っていきます。
	㉚	父母の会活動を支援したり、保護者会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			4		・父母の会の活動はない。	・現段階では、保護者方らの要望は出ていませんが、ご意見を伺いながら検討していきたいと思います。
	㉛	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4				・保護者への周知は、十分とは言えない。	・保護者の方々との信頼関係を築き、遠慮せず話せる雰囲気や環境を作りをしていくと共に、周知徹底をしていきます。
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4				・月1回、「いるかデイ東見前通信」を発行している。	・内容の充実を図っていきます。

仕等	③⑤	個人情報に十分注意しているか	4			・関係機関とやり取りをする際は、保護者の了解を得ている。	・今後も取扱いについては、十分に留意しながら対応していきます。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のために配慮しているか	4			・個別的に関わることで子どもの表情や仕草により、理解を深める努力をしている。気持ちや要求等を表現する手段として、イラストや写真、文字カードを活用している。	・引き続き丁寧な対応を行っていきます。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4			・人数は少ないものの、いるか祭りに来ていただいている。	・いるか祭りが地域住民との交流の場となるように充実を図っていきます。
非常時等の対応	③⑧	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			・整備されている。	・周知徹底を図っていきます。
	③⑨	非災害の発生に備えて定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			・毎月1回避難訓練を実施している(火災・地震・浸水・不審者)	・引き続き実施し、災害に備えていきます。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			・研修会に参加し、情報を共有している。指摘し合える環境を作るようにしている。	・利用者への対応の仕方について、職員間で話し合うと共に、指摘し合いながら防止に努めていきます。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承をえた上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			・本人やまわりの利用者に危険が伴う場合など、個々の状況に応じて、必要な場合のみ個別支援計画に記載し、ケース記録に記録するようにしている。	・個別支援計画への記載、保護者への説明と了解、記録することを徹底していきます。
	④⑫	食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			・アセスメントにアレルギーの有無について記載してもらっている。 ・アレルギーのある方については、おやつを持参してもらっており、手作りおやつの際は、保護者にその都度確認し提供している。	・保護者や子どもが安心・安全に利用して頂けるように対応していきます。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			・作成後、ミーティングで報告し合い、共通理解と再発防止に努めている。	・引き続き作成し、事故防止につなげていきます。
合計		140	20	12			
割合 (%)		81	12	7			

全体として

- ・平成28年12月に事業所を移転してからは、空間を有効利用し、伸び伸びと活動できていますが、体調不良時の休養スペースについては、利用者の理解を得て今後も工夫しながら対応していきます。
- ・緊急時の対応等、保護者に対する説明が十分とは言えない部分もあることから、更に周知徹底していきます。
- ・関係機関との連携や情報の共有については、更に取組んでいきます。
- ・保護者や利用者の方々に安心・安全に利用していただきながら、今年度は、療育支援・保護者支援の充実を図っていきます。